



三重県知事 野呂 昭彦

## 愛・地球博「三重県の日」にお越しく下さい。

今年は、数百万人の人々が伊勢の地に押し寄せた宝永2年の大規模な「おかげ参り」からちょうど300年にあたります。「三重県の日」では、『交流と伝統』をテーマに、伝統芸能やお祭り、雅楽やマーチングバンドなど

により、人と人が交わり、交流の舞台となってきた三重県を紹介します。見て、聞いて、体験して、三重県の歴史や文化を存分にお楽しみください。

### プロフィール

#### 皇學館大学雅楽部

昭和39年創部。本年度で創立42年を迎えました。日頃は、各楽器ごとに分かれての練習を中心に、太鼓や箏などを交えての合奏や、舞楽・祭祀舞を練習しています。定期的な活動としては神宮奉納演奏会・定期演奏会があります。

#### お木曳き行事(伊勢市)

お木曳き行事は、20年に一度行われる神宮式年遷宮の際、御用材を神宮に運び込む行事で、各町では伝統の木遣り唄が唄われてきました。伊勢宮後子供木遣保存会と船江神習組子供木遣りは、伝統芸能継承のため発足し、週に一度の練習を続けています。

#### 斎王まつり(明和町)

昭和58年から開催されています。斎王とは、天皇の代わりに伊勢神宮の天照大神に仕えていた女性のことで、天皇の娘や姉妹などの未婚の女性から選ばれ、都から遠く離れた斎宮(現明和町斎宮)で暮らしていました。

#### 梅村学園三重高等学校吹奏楽部

昭和36年三重高校開校と同時に吹奏楽部として発足。昭和45年金管・打楽器による編成に変更し、マーチング活動を開始し現在に至ります。今回は、「三重県の日」のためにOB・OGを加えた特別編成で出演します。

#### 伊勢音頭(伊勢市)

「伊勢に行きたい、伊勢路がみたい、せめて一生に一度でも」と唄われる伊勢音頭は、江戸時代「お伊勢参り」の参宮者が旅の道中にお伊勢さんへの憧憬を唄ったもので、現在も全国各地で唄い継がれています。

#### 分部町唐人踊り(津市)

寛永13年(1636年)から続く津まつりを代表する伝統芸能。江戸時代の「朝鮮通信使」をまねたものとされ、隊列をなして練り歩き、止まるとはラッパを吹き、笛や太鼓の音に合わせて「歓喜の踊り」を舞います。県指定無形民俗文化財。

#### 松阪しょんがいが音頭と踊り(松阪市)

しょんがいが音頭と踊りは松阪地方の郷土民謡としては最も古いとされています。約400年前、(天正16年)松阪城主蒲生氏郷公が松阪城を築城し酒宴を催した席で一農民が唄い踊り出たのがしょんがいがいのはじまりです。市指定無形民俗文化財。

#### 鳥ヶ原獅子神楽(伊賀市)

享保年間より伝承されていると言われる「獅子舞」を、長老たちから口伝で受け継いで、現在20名の保存会員で継承しています。毎年、12月20日に鶴の宮神社の秋祭りに奉納しながら伝統行事の保存と後継者育成に努めています。

#### 二見かえる踊り(二見町)

二見興玉神社の祭神、猿田彦大神が二見の地へ来られた際、かえるが道案内をしたという話が残っています。「無事かえる(交通安全)」「貸した物がかえる」「若かえる」など、縁起が良いといわれ、「かえる」をモチーフに出来たのが、この「二見かえる踊り」です。

#### 二見太鼓(二見町)

二見興玉神社の夫婦岩に懸けられる大しめなわ張替行事などで、木遣りとともに祭りを盛り上げるのが二見太鼓です。現在では、2歳児から40代の主婦まで、幅広いメンバーで構成されています。

#### 二見木遣り(二見町)

前回の神宮式年遷宮にご奉仕した際、この木遣り唄を若い世代に引き継いでいこうと発足しました。主に年3回の夫婦岩の大しめなわ張替行事と7月14日の二見大祭しめなわ曳で活動しています。

#### 水郷輪中太鼓(桑名市)

水郷輪中太鼓は、長島町(現桑名市)の新しい郷土芸能の継承を目的に平成4年に誕生した創作和太鼓チームです。結成以来、約40人の小学生から熟年層までのメンバーが各地のイベント等で演奏活動を続けています。

#### 陽華(桑名市)

桑名市深谷地区では、和太鼓製造が行われているものの創作太鼓チームがなく、地元有志の呼びかけで平成13年5月に結成されました。地元のイベントや小学校での演奏を中心に幅広い人々との交流を行っています。

#### 狐師かんど踊り(松阪市)

その年に亡くなられた方の初盆供養と、漁の大漁を祈願して8月13日から16日未明にかけて家々を巡り踊り歩き、音頭に合せて太鼓を打ち鳴らす雄大な踊りです。県指定無形民俗文化財。

#### 射和祇園まつり(松阪市)

7月中旬の土・日曜日に開催される射和祇園まつり。小屋台、神輿、大屋台が元禄時代からの幻想の世界に誘います。祭当日は、三つ巴(どもえ)と木瓜(もっこ)の紋のハッピーを着た若者の威勢のよいかげ声が響きます。市指定無形民俗文化財。

#### 燈籠祭・孫太郎太鼓(紀伊長島町)

燈籠祭は、今年で19年目。現在では海のぬぶたとも言われています。また、孫太郎太鼓は、フランスベルサイユ祭にも出演した実力派。ステージでは、今年制作した燈籠2基が、力強い太鼓の音に合わせて練り歩きます。

#### 伊勢えび祭(志摩市)

伊勢えびに感謝するとともに、その年の大漁を願う伊勢えび祭は、浜島町(現志摩市)で昭和36年6月に発足しました。この伊勢えび祭に欠かせないのが、「じゃこっぺ踊り」で、「じゃこっぺ(伊勢えびのこども)」のようにピチピチと跳ねる様から名付けられました。

### プログラム

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00							
既設ステージ	開場	時の道ステージ 斎王入場 おもてなし横丁除幕	おもてなし横丁除幕	人の道ステージ おもてなし横丁	おもてなし横丁 景品抽選会	おもてなし横丁 景品抽選会	おもてなし横丁 景品抽選会	おもてなし横丁 景品抽選会	おもてなし横丁 景品抽選会	おもてなし横丁 景品抽選会	おもてなし横丁 景品抽選会							
張り出しステージ		雅楽・舞楽(皇學館大学) 開会セレモニー		手話道中落語(桂福団治)		鳥ヶ原獅子神楽(伊賀市)	雅楽・舞楽(皇學館大学)		津軽三味線(KUNIKIDA)		おもてなし横丁 街道町屋をモチーフに 展示や実演を行うコーナー 伊勢形紙紹介(実演・体験あり) 四日市萬古焼紹介(実演・体験あり) 世界遺産 紀伊山地の霊場と参詣道 (熊野古道伊勢路)紹介 三重ブランド紹介							
アリーナフロア		オープニング お木曳き行事(伊勢市)	オープニング マーチングバンド(三重高校)	伊勢音頭(伊勢市)	伊勢えびみこし(志摩市)	弥次喜多 三重めぐり 分部町唐人踊り(津市)	しんがいが音頭と踊り(松阪市)	忍びソウ (伊賀流忍者集団・黒党)	二見木遣り(二見町)	二見太鼓(二見町)	二見かえる踊り(二見町)	「三重」セッション 創作和太鼓 水郷輪中太鼓・陽華 (桑名市)	シラサイザレ天女神楽 (矢吹紫帆・矢中慶光)	狐師かんど踊り(松阪市)	射和祇園まつり(松阪市)	孫太郎太鼓(紀伊長島町)	燈籠祭(紀伊長島町)	伊勢えび祭(志摩市)